

高等女子用習字本

埼玉私立教育會編纂

菱澤揮毫

日用書類 四ノ下

K120.7
32.4
4.2

K120.7 1

32.4

4.2

埼玉私立教育會編纂
卷 菱澤揮毫

第四年後期

高等小學
女子用 習字本

日用書類

埼玉私立教育會藏版

昨日誰様の法定

ては前様とあり

と徒然州子様

見殺しひびが

右を彼法の方と説
滴の折に暫時存借
之事は存下たるに
教の裁伺ひ度也。

仰哉と承ふ事以
殊に易き法用不
以度候里以承
束は若し中へん

遍の源氏物語を
求めぬまゝに用ふ
作は清中より下
さるる度く作。

清和毛出来いた
く今日迄引續り
なままに目出度
まはるるに於て

自筆習字本 幼少用
三
此品軽少なるらば
祝之志あるくまそに
さくよふ何れ持免
考死出せらる。

私方今年亥入の
蘭を製糸いたし
度ゆき又何分諸多
不安内りて

困り入る者心當え
此座のつる子なれども
一人此たのこ下さき
度又の。

古手紙持見いたし
貞享七年秋方へ
薩八公中乃者
と考はるる者

問合せし厚又あ三
口内返り致せ入
ま合り出せし厚
知下せし厚。

私事、来る三月首
尾克高等小学科
卒業いたし、上い当
あ三年の旨普通科

并ニ裁縫を修め申
度の方の地のお少田な
るの子の校の直の産のふの学
りの申の度の作の。

當地の洲女學校
とりまゝに教授も行
届き生徒の風儀も
宜敷なりとて

私知人の者三名
程八校いたしく居ゆ
規則書さきくす
と説下され度ゆ。

祖母儀久くあづらひ
居ゆ又善長生お叶
まはし今も終り死
去いたしく居ゆ

来る五十年前十時
香をし院へ葬り置
骨を付は台一寸と知
らせりよひ。

古老人様は多し未
ど左程の事と存
せは久おぬ古見舞
中よはるひが

終ふ直死去おむさ
き作りし直歎
いと為し何きもの
古何ひ中へく能。

私より永らく直世
活様にお成ひひ
卒には及卒業い
たし直に付是より

當分伯母のや又糸
 王の家子見習ひか
 てら裁縫穂音古い
 たし小積の産屋。

高等科女子用

明治二十六年四月廿九日印刷
 同 年五月十日發行

正價金五錢

著者兼
版權所有者

埼玉私立教育會

埼玉版組代表者

埼玉縣北足立郡浦和町百字菴地

發行兼
印刷者

長嶋為一郎

同

高野幸吉

埼玉縣北足立郡浦和町三原菴地

特別賣所

岩槻 水野武平
 栗橋 塚本元次郎
 加須 櫻井為之助
 本庄 諸井巴
 小鹿野 柴崎久四郎

特別賣所

飯能 金子彌吉
 小川 高荷剛太郎
 東京 小林喜右衛門
 同 榊原友吉
 同 長嶋恭三郎

120. 7

